

令和7年度「地域課題の解決に向けた協働推進事業」実施結果

(事業名)外国人材と地域住民が学び・出会い・歩み寄るまちづくり推進事業

実施主体

(団体名)任意団体 やおあい
(担当課名)外国人材政策推進課



背景

南大隅町をはじめとする県内の地域において、外国人材と地域社会をつなぐ支援体制や交流の場が十分に整っておらず、生活や仕事に関する課題が見えにくいままになっている現状がある。また、日本人住民と外国人材双方で、両国のマナー、風習、しきたりなどお互いを「知る」機会が不足していることにより、お互いに不安や誤解が生じやすくなっている。

外国人材の定着のためには、立場の異なる人々が学び合い歩み寄る関係づくりと、それを実践できる場の整備が必要である。

地域課題

- ・外国人材と地域社会をつなぐ支援体制や交流の場が十分に整っていない。
- ・外国人材の生活や仕事に関する課題が見えにくい。
- ・外国人材と日本人住民双方で、「知る」機会が不足していることにより、不安や誤解が生じている。

事業のねらい

外国人材・地域住民・関係機関の三者が、勉強会や交流会を通じて「知る」「知ってもらう」体験を重ね、歩み寄りの姿勢を育む。

日本人には、やさしい日本語やそれぞれの文化・価値観を伝えることで、外国人との日常的なコミュニケーションへの心理的ハードルを下げ、外国人材には、日本語表現を学ぶ機会を提供し、交流に向けた準備と自信を育てる。

さらに、学びや気づきを展示会やスピーチ大会などのかたちで社会に発信することで、多様な立場が互いの経験や価値観に触れ、共生のあり方について共に考える機会をつくる。

こうした学びと対話を通じて、それぞれが安心して関わり続けられる地域社会の土台を築き、外国人材の地域定着につなげていく。

事業概要

- 1 にほんご勉強会の開催
- 2 にほんご交流会の開催
- 3 講演会の開催
- 4 企画展の開催
- 5 ドキュメンタリー映像の制作



成果

1 にほんご勉強会の開催

交流会の準備としての学びの場をつくり、日本人・外国人双方が「知る」「伝える」機会となった。

①対面方式(会場: 南大隅町役場)

外国人材対象 8/20、9/24、12/20、1/16、2/11

日本人対象 8/27、10/1、12/20、1/16、2/11

②オンライン方式

外国人材対象 9/17、11/19、12/17、1/21、2/4

日本人対象 9/10、10/8、11/5、12/10、1/14



2 にほんご交流会の開催

勉強会で学んだ日本語を使って会話を楽しみ、お互いが「教える」「伝える」を体験する機会となった。

① 第1回

日 時: 9月20日(土)

場 所: 旧宮田小学校・栗之脇公民館(南大隅町)

内 容: かごしまのお菓子づくり【参加: 外国人材19名、日本人40名】
南大隅よか晩体験【参加: 外国人材20名、日本人51名程度】

② 第2回

日 時: 10月11日(土)

場 所: 根占ふれあいドーム(南大隅町)

内 容: ゆるスポーツであそぼう!【参加: 外国人材11名、日本人15名】

3 講演会の開催

たかのてるこ氏による講演会を開催し、参加者の“価値観のゆらぎ”をつくる機会となった。

日 時: 11月30日(日)

場 所: 南大隅町役場(南大隅町)

講 師: たかの てるこ 氏

参加者: 55名

4 企画展 ふつうの「ふつう」展の開催

国・地域・家族・自分など、それぞれにとっての「ふつう」を並べ、来場者が“気づき”や“問い”を持ち帰ることができる場となった。また、勉強会や交流会を通じて得た学びを発表する場となった。

場 所: 南大隅町内及び鹿児島市内

日 時: 鹿児島市: 2月19日(木)～2月25日(水)
南大隅町: 3月7日(土)

内 容: ・ 外国人材・地域住民が作品展示
・ やさしい日本語でのスピーチ大会
・ 映像放映
・ 各国ステージ(歌・演奏)等

対 象: 外国人材、日本人

来場者: 【鹿児島市会場】延べ1023人
【南大隅町会場】延べ103人



5 ドキュメンタリー映像の制作

外国人材・地域住民・関係機関にインタビューを行い、それぞれの悩みや交流による学びを可視化した。

放映日: (鹿児島市) 2月22日、2月23日
(南大隅町) 3月7日



協働の状況

- ・任意団体 やおあい
事業実施主体
- ・県外国人材政策推進課
取組の周知、広報
- ・株式会社DYC WORKS 山下大裕氏
ドキュメンタリー映像制作
- ・鹿屋中央高等学校インターアクトクラブ
企画展協力
- ・南大隅町地域おこし協力隊
交流会・企画展協力
- ・一般社団法人 すみずみ!みなみおおすみ
交流会
(ふくれ菓子づくり・昔あそび企画・運営)
- ・NPO法人風と土の学び舎
交流会(BBQ企画・準備)

今後の取組

- ・日本語勉強会、やさしい日本語勉強会、交流会などを継続的に実施し、地域の方、外国人材が、ともに安心して暮らせる地域づくりにつなげる。
- ・近隣地域も巻き込みながら、広域的かつ継続的な取組として展開する。
- ・より多くの方が参加しやすい形で、自分自身や他者、地域のことを考えるきっかけをつくる企画展などの取組も継続していく。
- ・事業を通じて見えてきた課題や参加者の変化を、事例や映像等を活用して継続的に発信し、受入環境づくりに生かす。



協働事業の感想

団体からの声

交流会では日本人参加者が甘酒の差し入れとともに、やさしい日本語を使って甘酒について外国人参加者に伝える場面が見られた。また、地域の中であいさつや会話を交わす様子も見られ、交流がその場限りで終わらず、日常のつながりに広がっていることを感じた。

担当課からの声

外国人にも日本人にも、「知る」「知ってもらう」機会を提供できた。企画展の来場者からは、「とても面白かった。日常で当たり前になっていることについて改めて考える機会になった」との声が多く聞かれ、それぞれの“価値観がゆらぐ”効果的な取組が実施できたと感じている。